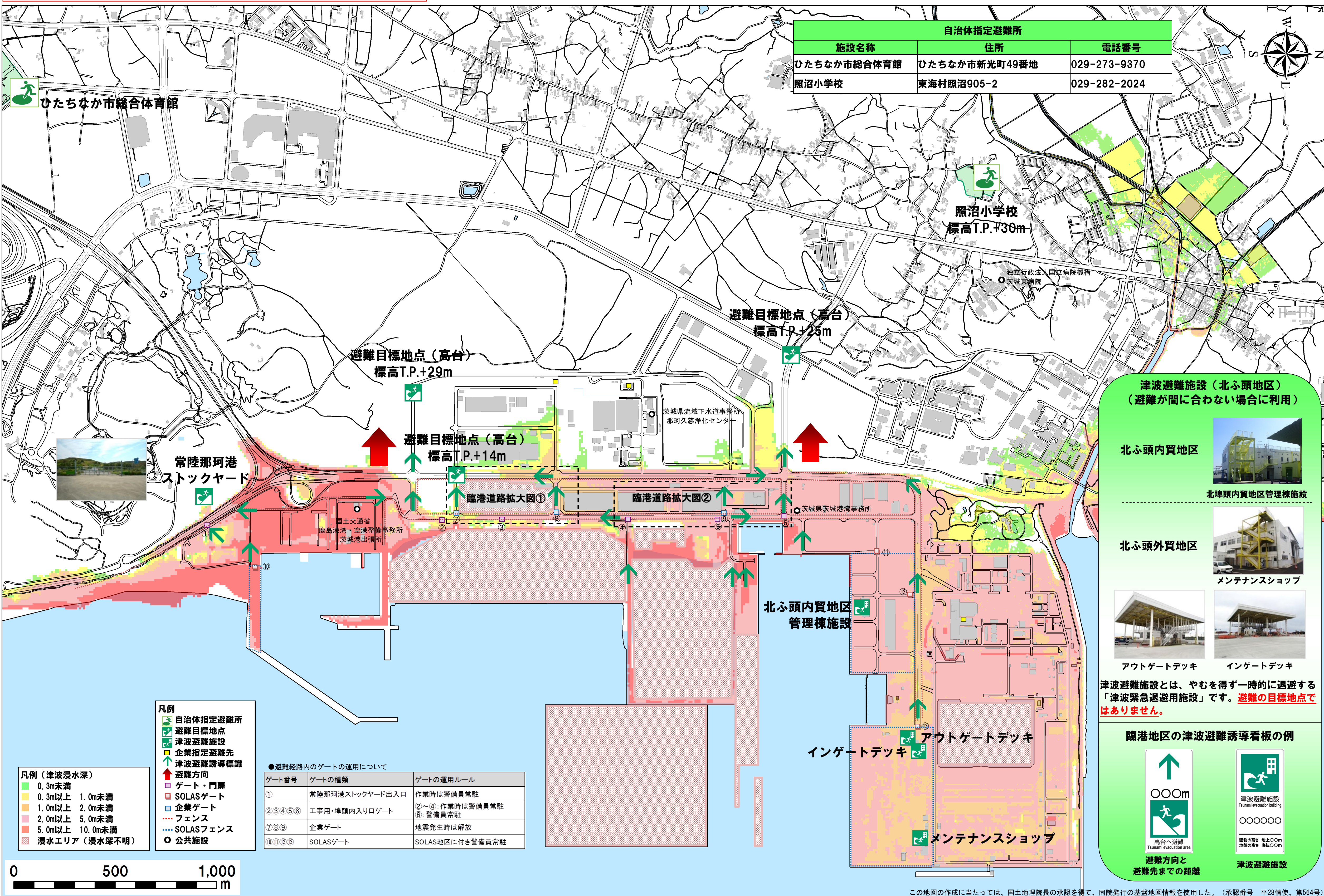


常陸那珂港区 津波ハザードマップ

地震発生後すみやかに避難を開始しましょう！

※地震津波発生の場合に備え、日頃より避難経路を確認しておきましょう。
 ※津波避難施設とは、やむを得ず一時的に避難する「津波緊急退避用施設」です。避難の目標地点ではありません。
 ※T.P.: 東京湾平均海面 海面からの高さを表す基準です。

海辺にいる人々への人命に影響が出る恐れのある水位変化が生じるまでの時間	地震発生後24分
津波が遇上する最大の標高	T.P.+12.2m



●浸水想定について

本ハザードマップは、茨城県が平成24年8月に公表した茨城県津波浸水想定をもとに作成しています。最大クラスの津波をもたらす2つの地震(下図)による津波浸水シミュレーション結果をもとに、浸水域、浸水深、影響開始時間、最大遡上高を抽出しています。

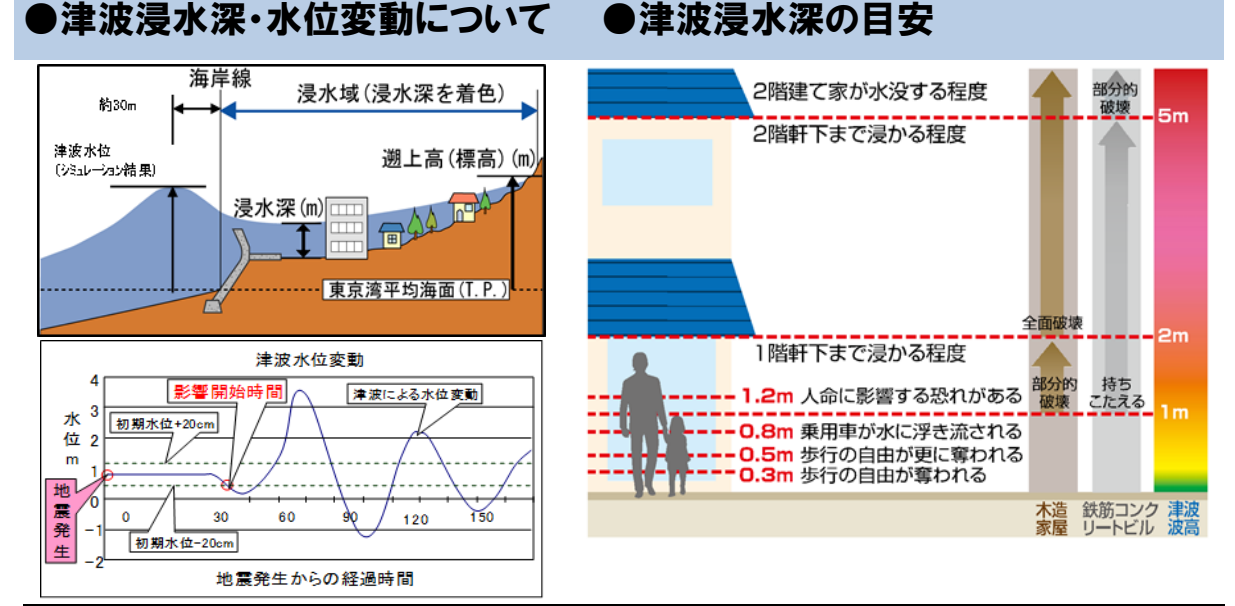
対象津波	①今次津波 (東北地方太平洋沖地震)	②H23想定津波
使用モデル	内閣府モデル	茨城県モデル
説明	東日本大震災を引き起こし、東北から関東を中心に甚大な被害をもたらした津波の再来を想定。マグニチュードはMw=9.0	平成19年に茨城県で想定した津波「延宝房総沖地震津波」の震源域等を参考にした地震。マグニチュードはMw=8.4
概要	震源域:岩手県沖～茨城県沖 震源長:400km 震源幅:200km	震源域:房総沖 震源長:280km 震源幅:100km

●津波予報について

気象庁は、地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合、地震が発生してから約3分を目処に、**大津波警報**や**津波警報**又は、**津波注意報**を発表します。その内容は、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどです。(常陸那珂港区を含む茨城県沿岸は茨城県として発表されます)

種類	予想される津波の高さ		津波警報が取るべき行動	想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	沿岸部で作業中の人は、ただちに高台や津波避難施設などへ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	臨港地区内では津波により浸水し、津波による流れに巻き込まれる。
	5m(5m<高さ≤10m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	(表記しない)	臨港地区内の標高の低い場所では津波により浸水し、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
	1m(20cm≤高さ≤1m)			

(気象庁HP(<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/sunaminfo.html>)を一部改変)



●津波の情報を得るには

気象庁 03-3212-8341	水戸地方気象台 029-224-1105
防災行政無線テレホンサービス(ひたちなか市) 029-275-3174	防災行政無線テレホンサービス(東海村) 0120-42-4848

●港湾における関係機関

ひたちなか-東海広域事務組合消防本部 029-273-0211 (緊急時119)	ひたちなか警察署 029-272-0110 (緊急時110)
海上保安庁 第三管区海上保安本部 茨城海上保安部 029-263-4118 (緊急時118)	国土交通省 鹿島港湾・空港整備事務所 茨城港出張所 029-285-5015
茨城県茨城港事務所 029-265-1260	茨城県土木部港湾課 029-301-4516
ひたちなか市役所 029-273-0111	東海村役場 029-282-1711

●災害時の安否確認

災害用伝言ダイヤル「171」
 地震や津波などの災害発生時は、電話の利用が確率的に増加し、電話が繋がりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。
 このサービスは、被災地域とその他の地域間での安否確認等を音声により伝達する「ボイスメール(声の伝言板)」です。

災害用伝言板
 地震や津波などの災害発生時に各携帯電話会社が提供するメッセージの伝言板の役割を果たすシステムです。

災害用伝言板(web171)
 地震や津波などの災害発生時にスマートフォンやパソコンから安否確認を行うことができます。
 URL:<https://www.web171.jp>

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

- 171にダイヤルする
- ガイダンスが流れます
- 再生の場合 2
- ガイダンスが流れます

被災地内の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

